

**【治水】14) 堤体の型式が何度も変更になった経緯、理由を説明願う。**

当初、コンクリートダムを検討も視野に入れフィルダムを計画し、詳細な地質調査等を行いダム型式を決定することとしていました。

その後の地質調査等の結果を踏まえて、平成7年に策定したサンルダムの建設に関する基本計画において「重力式コンクリートダム」として計画しました。

さらに、新技術開発等の検討を踏まえて、コンクリートダムの一工法としてコスト縮減や環境への負荷軽減ができる「台形 CSG ダム」を採用することとしました。

台形 CSG ダムの材質は、河床砂礫、セメント、水からなるコンクリートの一種であり、従来の重力式コンクリートダムと同様、貯水池からの水圧をダム堤体自重で耐えるものです。